平成24年度 行政評価 施策カルテ(平成20~23)

施策主管課 上下水道局経営企画課 総合計画記載頁 151ページ

政策 の柱 III 市民の快適な暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	3 上下水道サービスの質を高める	施策名	④ 顧客重視経営の推進
-------------------------------	-----------------------	------------------	-----	-------------

1 施策の取組状況

			比価の	佐 笠 比 擂 笠			指標の数値	宣(上段:目標値,下段:実績値)				達成率
主要な取組内容		施策指標の実績とH24末の見通し	指標の 達成率	施 策 指 標 等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H23
			2000	(政工教の・神殿日田日に至り(18日本)		基準年	実績	実績	実績	実績	見込み	H24見通し
	ごスの高品質化を図るため、マーケティング調査なニーズの把握や、上下水道事業に親しみやすい	◆広報紙等による情報発信や各種イベントでのPRにより、顧客満足度は向上している。		顧客満足度数	%		68	69	70	70	70	97.1%
広報紙の発行	テに努めるとともに,各種イベントによる市民への積 小学生を対象としたお届けセミナーによる情報発	⇒平成24年度末の見通しとしては,継続的に広報広聴活動を実施		假台测足反数	70	0	62	66	68	68	70	100.0%
信などの取組	1を進めている。	することにより、自信値を建成する元 <i>匹∞をこめ</i> る。	97.1%									
納率向上, 上	の強化を図るため,財政構造改革計画の推進,収 上下水道の未加入者や未接続者への効果的かつ											
継続的な加え	A・接続促進などの取組を進めている。 											
	◆顧客ニーズの多様化・高度化への対応が課題と ◆節水意識の向上などにより、上下水道料金収入の	なっている。 の増収が見込めない中で,収入の着実な確保が課題となっている。										
	▼ M/// M/// M// M// M// M// M// M// M//	THE WAY SELECTION OF THE STATE										
課												
題							H20	H21	H22	H23		
				市民意識調査(重要度・満足	2度)	重要度	55.9	63.4	62.3	60.7		%
						満足度	24.3	27.9	34.6	31.5		%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール前期後期	事業の進捗状況とH24末の見通し	課題

3 施策を構成する事務事業の活動指標

			開始			指	票の数値(上段	设:目標値,	下段:実績値)	重点度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針	
١	lo.	事業名	年度	活動指標等	単位	H20	H21	H22	H23	H24	(A~C) ※施策目標に			
			1/2			実績	実績	実績	実績		対する寄与度			
	1 -	水道未加入者の加入促進 格水区域 内の水道	t H12	訪問件数	ᠰ	4,500	4,300	4,300	4,000	4,000		継続	給水要望等による配水管整備に伴い,水道加入対象者が発生 することから,確実に加入してもらえるよう,今後も継続して効果	
	'	が 追 不加 八 目 り 加 八 庇 足		引可什致	117	5,296	1,321	5,137	5,056		Α	和生形化	9 ることから、唯美に加入してもらえるよう、ラぼも経続して効果 的な加入勧奨を行い、水道料金の収益拡大に努めていく。	
	, -	下水道整備 区域内の下 下水道未接続者の接続促進 水道未接続	540	訪問件数	件	17,000	15,000	15,000	15,000	15,000	Α	継続	下水道整備の進捗に伴い,下水道接続対象者が発生すること から,確実に接続してもらえるよう,今後も継続して効果的な普	
	_	下: 小戶 小] 安	340			8,215	10,333	14,648	13,669		^	<u>ጥ</u> ድ ሳሃር	及指導を行い、下水道使用料の収益拡大に努めていく。	
				督促状発布数	朸	110,000	108,000	108,000	108,000	108,000	Α		本事業は、経営の安定を図る上で重要な事業であることから、特に、休止未収金対策を強化するとともに、給水停止や法的措置などの滞納処分を行い、さらなる収納率向上に努めていく。	
	3 7	水道料金等徴収業務 上下水道利用者	T5		12	108,387	111,066	109,818	112,686			継続		
			10	給水停止件数	性	4,000	4,000	4,000	3,000	3,000				
				IIII JANT TII JA	- 11	3,859	3,707	2,780	3,698					
	1 6	受益者負担金賦課徴収事務 下水道等 ***	\$ 545	訪問戸数	一	2,500	3,500	3,500	3,500	3,500		継続	本事業は、経営の安定を図る上で重要な事業であることから、 下水道整備計画に合わせて、負担金制度に関する理解を深め てもらう取組を継続し、休日・夜間訪問催告を強化するなど、受	
	т ,	安 <u>血</u> 有貝担並 與 議倒 以 事務 益者	040		, .	3,235	3,175	3,562	2,983		Α	ጥ፫፤ ሳሃር	てもらう取組を継続し、休日・夜間訪問催告を強化するなど、受 益者負担金の収入の確保に努めていく。	

						指标	票の数値(上	段:目標値,「	下段:実績値)		重点度			
No.	事業名	対象者	開始 年度	活動指標等	単位		H21	H22	H23	H24	(A~C) ※施策目標に	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針	
			十汉			実績	実績	実績	実績		対する寄与度	731312		
	下水道の供 用開始区域 内に建物を 所有又は使				1	1	1	1	1					
			広報紙等への掲載		1	1	1	2		1		水洗化率の向上を図るため、制度のさらなる利用拡大が求めら		
5	5 公共下水道接続工事資金融資斡旋	用してい て, 一時に 工事資金を	H1			2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	В		れることから,戸別訪問や広報紙等により制度のPRの強化を 図っていく。	
	負担することが困難な 市民		嘱託員による制度PR(訪問件数)	件	1,728	1,632		1,843	_,					
		1,124				70,000	70,000	70,000	70,000	70,000			本事業は、お客様サービスの向上を図る上で重要な事業である	
6	開栓・休止受付業務	上下水道 利用者	Т5	受付件数	件	74,774	71,078		72,000	70,000	Α	継続	ことから、委託業者への指導を強化し、より効果的な受付体制 の整備に努めていく。	
						1,350,000	1,365,000		1,395,000	1,410,000				
7	使用水量検針業務	上下水道 利用者	S4	検針件数	件					1,410,000	Α	継続	本事業は、お客様サービスの向上を図る上で重要な事業であることから、委託業者との連携を密にし、適正な業務遂行を図っていく。	
						1,335,133	1,359,310		1,397,967					
8	広報紙の発行	市民 S6	S62	62 広報紙の発行部数	部	781,600	777,200	774,000	768,000	756,000	Α	継続	上下水道局の取組を広くPRするとともに、お客様が事業についての理解をより深めることができるよう、可能な限りお客様の視点に立った、わかりやすく、読みやすい広報紙の発行に努めていく。	
	124 + 1X 1104 0 0 7 7 6 1 3		002			781,600	777,200	774,000	768,000		^			
		上下水道 利用者等		イベント開催,出展日数	目	6	6	5	4	4			「安全でおいしい宇都宮市の水道水」や「下水道の必要性」の	
						6	6	5	3					
9	イベントの開催		334	イベント等に参加した人数	人 -	3,540	2,540	2,800	3,200	3,200	Α	継続	PR(ブランド化を含む)について、最小の経費で最大の効果を発揮できるよう、内容の改善、充実を図っていく。	
						4,808	2,827	3,277	1,980					
		上下水道	K道	開催回数	件					00	Α	継続		
10	上下水道お届けセミナー	び小学生	H15			44	44	44	39	39			を深めてもらい、あわせて、水の循環や水を機軸とした環境保全への意識を高めてもらうために、今後も多様化するお客様 ニーズに沿った講座内容となるよう、適宜内容を充実させてい	
	1 1 3 2 00 m / C / /		.			34	37	32	30					
		等				2	0	0	4	-1				
			3	実施回数	回	3		2	1	1				
11	上下水道探検ツアー	市民	S33	33		3	2	2	0		В	継続	上下水道施設の見学は、事業に対する理解と関心を高めるために有効であり、より効果的・効率的な事業とするため、想定さ	
			参加人数(かっこ内は応募者数)	人	120	80		40	40			れる参加者の属性に適した内容で実施していく。		
						90	53	59	0		 			
				会議の開催回数(施設見学会を含む)		5	5	3	2	1			 - 利用者の率直な意見等を直接聴取し, 双方向にコミュニケーショ	
12 上下水道モニター	上下水道利用者	Н5			5	5	0	1		В	継続	ンを図る手段として有効であるが、意見・要望等の画一化、申込 者の減少及び年齢の偏り等の課題があることから、一日モニ ターに方式を改めるなど、お客様がより意見を出しやすい形態 での実施に努めていく。		
			アンケート実施回数		2	2	3	2	0					
				1	2	2	0	0		l				